

年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	1 学 年	技術・家庭科 技術分野

1 学習のねらい等

学習のねらい	○ コンピュータ活用を通して、情報機器や情報通信ネットワークが人間の生活を変化させてきたことに関心を持ち、それらによって生活をよりよくしようとする態度を身につける。 ○ 情報活用を行う際に、目的や自分に見合った情報を処理するために工夫することができる。 ○ 生活の中で扱うコンピュータ活用・情報機器・情報通信ネットワークに関する知識を身につける。 ○ 植物の栽培を通して、生物育成の方法を知り生物を育てる大切さを考えより健康安全に生育する工夫ができる。
使用教材	教科書：東京書籍「新編 新しい技術・家庭 技術分野」 栽培用の種、「アクティくん」（センサーカー）

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①生活や技術への関心・意欲・態度	・コンピュータ等の情報機器や情報通信ネットワーク及び情報手段の果たしている役割や機能などに関心を持っている。情報モラルについて考えようとしている。プロボの制御について関心を持ちコントロールしようとしている。 ・生物育成に関する方法を知ろうとする。	・授業参加の様子 ・提出物とその内容 ・振り返りカードの記入内容
②生活を工夫し、創造する能力	・コンピュータ等の情報機器や情報通信ネットワークを効果的に活用し、生活の中に取り入れる方法を自分に見合うよう工夫する。 ・目的とする生物の栽培について適切な方法を選択でき、また、改善に生かすことができる。	・授業での発言内容と行動の様子 ・提出物とその内容 ・観察プリントの内容
③生活の技能	・コンピュータや応用ソフトウェアの機能を操作でき、必要な情報をまとめ発信することができる。 ・生物育成の基本的な手入れを行うことができる。	・コンピュータ活用の様子 ・作品製作の様子 ・栽培の様子
④生活や技術についての知識・理解	・情報手段の発達と生活との関わりやそれらが及ぼす影響に関する知識を身につけ、情報モラルの必要性について理解できる。 ・生物育成のための基本的な知識を身に着け理解できる。	・プリントの記入内容 ・定期テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
前期	1. コンピュータのしくみと基本操作「レポートづくり」	①身の回りの情報技術やコンピュータの活用について考え、知ることができる。 ②コンピュータの構成について、それぞれの機能に関する知識を身につけている。また、基本操作を行う上で必要な知識を身につけている。 ③データの種類や場面によって基本操作を工夫することができる。

		④マウスやキーボードを使いこなして、コンピュータの起動・終了やソフトウェアを利用した作品作りが行える。
	2. 情報セキュリティ技術 (情報モラル)	①コンピュータ等で情報を扱う際に、著作権や情報モラルに気を付けながら安全に作業を行うことができる。 ②これからの情報社会の中で、情報通信や情報モラルの重要性を理解し、それらに照らし合わせて普段の生活の中で自分がとるべき行動を取ることができる。 ③著作権や情報モラルの観点から、適切に情報を選択・収集・発信することができる。
	3. プログラムによる計測・制御 「アクティの制御」	①私たちの身の回りにある、コンピュータによって制御されている機器について、その機能と効果について興味を持ち、積極的に調べようとしている。 ②目的通りに機器が働くように、プログラムを工夫している。 ③目的に見合ったプログラムを作成することができる。 ④コンピュータ制御に必要な機能について、人間との比較を用いて説明できる。また、それぞれの機能について説明することができる。
	4. 生物育成に関する技術	①様々な生物を育成する技術について理解しようとしている。 ②栽培する植物の特徴を考え、正しい栽培方法をしようとしている。 ③植物の成長の様子を観察し、文章、図に表し生育方法を工夫している。 ④植物を栽培する上で必要な基本知識を身に着け理解している。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	・積極的に作業を行いましょう。 ・授業中に見たこと、聞いたこと、体験したことで気になることは随時ノートに記入しておきましょう。 ・先生の話をよく聞くことで、安全に能率よく作業ができるように技術の向上を目指しましょう。 ・提出物は期限を守って必ず出しましょう。
	家 庭	・新しく開発された技術・工具や製品はニュースなどでチェックしておきましょう。